

日本ビオトープ管理士会 ・ 令和6年度第3回研修会

地域の自然を活かす(第5弾)
地球沸騰化時代における
“雪山の水とエネルギー”を考える



2024年7月20日(土) 14:00-16:00

サン・アルプス大町 中会議室 (長野県大町市)

主催 日本ビオトープ管理士会信州支部

共催 日本ビオトープ管理士会

協力 信州ビオトープの会・小谷里山研究所

Association of Biotope Planners and Builders of Japan

日本ビオトープ管理士会・令和6年度第3回研修会

地域の自然を活かす<第5弾>

地球沸騰化時代における“雪山の水とエネルギー”を考える

7.20 (土) 14:00-16:00



会場

サン・アルプス大町 中会議室

〒399-0711

長野県大町市大町 1601-2

TEL: 0261-22-9988

※大町市文化会館の南隣に駐車場があります。

講師

田口 昌雄氏

日本スノーリゾートシンポジウム代表世話人。長野市出身。マウンテンリゾート企業、地方自治体などの顧客満足度改善コンサルを中心に地域振興・観光政策・スキー場経営問題等に参画。(公社)日本プロスキー教師協会講師を13年務め人財育成に寄与。JTBFマウンテンリゾート研究会会員・ホスピタリティマネジメント研究会会員・日本ケーブル(株)刊Snow Business編集委員。

研修内容

欧州連合 EU の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス (C3S)」は、世界平均気温がこれまでで最も高かった 2019 年 7 月の 16.63℃を超えて、2023 年 7 月は 16.95℃と観測史上最も高かったと発表しました。それに伴って、世界各地で熱波や山火事等の災害が発生しました。国連のグテーレス事務総長は 2023 年 7 月 27 日の記者会見で「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代 (the era of global boiling) が来た」と述べ、各国政府などに気候変動対策の加速を求めました。このような世界的な異常気象は日本でも降雪量や雪質の変化として現れ、国内のスノースポーツ等の愛好家やパウダースノーを求めて来日する外国人客の動向にも影響を及ぼし、スノーリゾートの存続にも関わってきます。

今回の研修会は、スノーリゾートに詳しい田口昌雄氏(長野市出身)を講師に迎え、長野県(白馬村・山ノ内町・野沢温泉村等)、北海道(ニセコ町等)、山形県(蔵王等)の国内のスノーリゾートの他、先進的な取り組みが進んでいる米国コロラド州等の海外のスノーリゾートの環境対策、特に水資源の現状と保全対策等とともに、スノーリゾートの現状や課題、そして自然資本である“雪”を持続的に維持して活用するための方策等についてお話いただきます。

スケジュール

13:30～ 受付
14:00～15:30 講演
15:30～16:00 質疑応答・意見交換
16:00 閉会

参加費

無料

定員・対象者

40 名・どなたでもご参加いただけます

参加申込書

日本ビオトープ管理士会
令和6年度第3回研修会

お申し込み先

日本ビオトープ管理士会信州支部
高山 光弘

メールアドレス:

shinshu_biotop@yahoo.co.jp

TEL: 090-3143-2448

FAX: 0263-28-3344

ふりがな
お名前

〒 -
ご住所

メールアドレス @

携帯電話 - -

ご職業

「日本ビオトープ管理士会」
又は「信州支部」の会員ですか？

はい ・ いいえ

7月13日(土)までに上記の各事項を「お申込先」のメールアドレス、TEL、FAXのいずれかにお送りください。